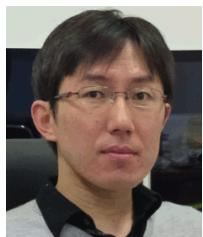


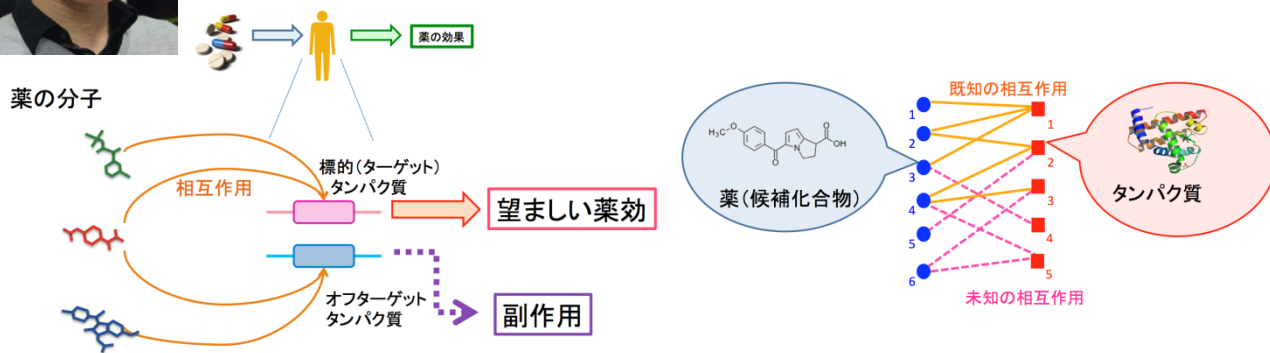
# 第37回 福山大学グリーンサイエンスセミナー

## 医薬ビッグデータと機械学習によるインシリコ創薬



山西 芳裕 准教授

(九州大学生体防御医学研究所・高等研究院)



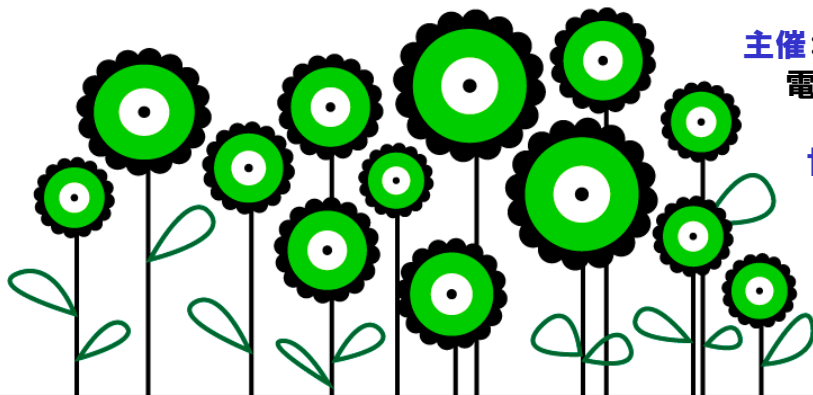
薬物・標的タンパク質間の相互作用の同定は、医薬品の開発過程において最重要課題である。近年の生命科学では、ゲノム、トランスクリプトーム、プロテオーム、メタボローム、フェノームなどの大量のオミックスデータが得られるようになってきた。同時に、様々な疾患に関する臨床情報や膨大な数の化合物や薬物に関する生理活性情報も蓄積されている。本研究では、これらの様々な医薬ビッグデータを有効活用し、薬物・標的タンパク質間相互作用をオフターゲットも含めて大規模に予測するための情報科学的手法を開発した。当日は既存薬の新しい効能を発見し、その既存薬を別の疾患に対する治療薬として開発するドラッグリポジショニングへの応用例を紹介する。

**日時:** 平成28年7月1日(金) 午後4時20分～5時50分

(講演終了後、ディスカッションタイムを設けます)

**場所:** 薬学部34号館4階34416総合演習室

※教員、大学院生、学部学生など多くの方のご来聴をお待ちしております



**主催:** 福山大学GSC(福山市学園町)  
電話: 084-936-2112(ex4045)

**世話人:** 岩本 博行(生物工学科)&  
上敷領 淳(薬学部 ex5123)

**Email:** kamishikiryou@fupharm.  
fukuyama-u.ac.jp